

## 【草花の部屋】

トウジンビエ (イネ科チカラシバ属 Pennisetum glaucum)

**和名**：トウジンビエ (唐人稗) **別名**：クロキビ **英名**：Pearl Millet

イネ目 一年生草本

**原産地**：アフリカ

**花言葉**：神聖

**花色**：



← 写真-1 トウジンビエ

～パープルマジスティ(園芸種)

撮影日：2015年07月14日

撮影場所：インターラーケン  
(スイス)にて

撮影者：M さん

↓ 写真-2、3 トウジンビエの穂

～パープルマジスティ(園芸種)

撮影日：2015年07月14日

撮影場所：インターラーケン  
(スイス)にて

撮影者：M さん

インターラーケンのヘイエマッテを散策中に、花壇に植えられているのを見かけました。一見、ガマ？とも思いましたが、葉がトウモロコシに似ていました。帰国後、調べて見ると、トウジンビエの仲間、しかも園芸品種のようでした。



トウジンビエは広く栽培される雑穀の一つ。トウモロコシに似た単子葉草本で、成熟すると高さ1～3m、幅5cmほど、葉は長さ1mにもなるそうです。茎にあたる稈(かん)は太いものの、高さがあるため倒伏しやすいそうです。夏から秋にかけて先端にガマに似た直径数cm、長さ30～40cmの白い円筒形の穂を出します。穎果(えいか)は米粒よりやや小さく青みをおび、穂は白い栽培種と黒い自然種があるそうです。

本来は多年草ですが、アフリカの乾燥した土地生まれなので、湿気の多い日本では一年草として扱われるそうです。カラフルな花が多い中で、本種は暗色で背が高く目立つのでオーナメンタルグラスとされています。紫色の葉は、最初は緑色で時間が経つにつれ紫色に変化したものです。

<ちょっと一言>

＊オーナメンタルグラス；

オーナメンタルプランツと同じように印象的な草類を指します。  
パンパスグラス、ニューサイライン、サンシモン等のようにそれぞれのものが単体でも存在感を放つような印象的な植物類です。



写真上左から、

パンパスグラス(イネ科、コルタデリア属)

撮影日：2012. 11. 11

撮影場所：昭和の森(昭島市)にて

撮影者：M さん

ニューサイライン(キジカクシ科フォルミウム属)

撮影日：2019. 04. 12

撮影場所：神戸ハーブ園にて

撮影者：M さん

サンシモン～黒法師(ベンケイソウ科アエオニウム属)

撮影日：2019. 02. 27

撮影場所：シントラ(ポルトガル)にて

撮影者：M さん